

プレゼンテーション		講義	准教授 黒澤 廣宣
科目カテゴリ	スポーツマネジメントコースの専門 選択科目, スポーツトレーナーコースの専門選択科目	科目ナンバリング	11322211

1. 授業のねらい・概要

プレゼンテーションはマーケティングやリサーチ業務を行う中で、仕事を自分の思った通りに進めることや、業務を獲得する上で大切なイベントです。時間をかけて企画や資料作成しても、プレゼンテーションが悪ければ台無しとなってしまいます。

プレゼンテーションとは、情報の送り手（企画立案者・報告者）が受け手（クライアントや上司）に対して、“情報”や“プラン”を正確にかつ効果的に伝達し、その結果として送り手の意図した方向へ受け手の判断や意思決定を行ってもらえるよう“説得”するコミュニケーションなのです。これは就職活動においても必須のスキルと言えます。

本科目では、資料を作成する技法だけに留まらず、その根本である考え方、発想の仕方から問題の検討と解決、ストーリー作り、表現方法を実践から学びます。また、グループに分かれての作業はオフィスワークの基本技能の習得、ディスカッション能力の向上へと繋がるでしょう。

2. 授業の進め方

講義では考え方を中心に進め、加えて手法の基本的な利用方法を学修します。演習ではグループに分かれ練習テーマ、課題テーマに取り組みます。

3. 授業計画

1. ガイダンス／講義の概要	9. 設計シート
2. 3つのスキル	10. プレゼンテーションツール(手法)
3. ロジカルシンキング	11. 検討
4. ブレインストーミング	12. グループ演習：調査／ブレインストーミング
5. 主張とニーズ	13. グループ演習：プランニング／シナリオ／資料
6. 情報収集	14. グループ演習：プレゼンテーション
7. シナリオライティング	15. まとめ
8. 組み立て	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

配布資料などは事前に読み終えて下さい。また、各回の復習、次回使用するテーマの準備等に1時間以上必要とします。

グループ作業課題では編成されたグループ内で別途検討会を持つ必要があるかもしれません。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

提出課題のフィードバック及び、講義時間内に個々の指導・アドバイスを行うことになります。

6. 授業における学修の到達目標

相手の立場に立ってものを考え、『魅力的な(企画)提案』を行う能力を身につけることを目標としています。

7. 成績評価の方法・基準

成績は、提出物(30%)、履修態度(発言/作業貢献)等(30%)、発表評価(40%)を考慮して評価します。尚、発表評価のうち半分と作業貢献に関しては参加者評価としています。

8. テキスト・参考文献

授業用 Web ページ(初回授業時に指示)に準備します。

参考文献：ロジカルシンキング等の書籍を事前に一読されると、より効果的な結果を得られるでしょう。

9. 受講上の留意事項

ワークショップは履修者（参加者）が主体の場です。誰が教えてくれる場でもなく、ファシリテーター（進行役）の示唆により、参加者自身が主体となって、自らの体験や履修者同士の相互作用の中から学んだり創り出したりする場となります。履修者には、ただ受身で話を聞くだけではなく、自ら主体的にプログラムに「参加」する積極的な姿勢が不可欠です。前回からの継続作業や、グループワーク等、集団で作業することがありますので欠席や遅刻に注意して下さい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本授業は、企業における企画提案の実務経験を活かし指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおりです。